

感染症胃腸炎に引き続き注意しましょう!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	258	433	百日咳	0	1
RSウイルス感染症	48	40	ヘルパンギーナ	4	7
咽頭結膜熱	13	15	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	15	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	83	101	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	595	481	流行性角結膜炎(はやり目)	8	5
水痘	20	26	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	40	39	無菌性髄膜炎	0	1
伝染性紅斑(りんご病)	1	5	マイコプラズマ肺炎	0	0
突発性発しん	26	41	クラミジア肺炎	0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	3

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- インフルエンザ
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎 : 山鹿、菊池  
咽頭結膜熱 : 菊池

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	63	14	1	30	114	9	22		9		2	2		7						1
山鹿保健所	9				40				1					*	*					
菊池保健所	26	16	7	18	140		7		3			1								
阿蘇保健所	1			4	17								*	*						
御船保健所	27				30								*	*						
八代保健所	12	1		2	67	1	1		4					1						
水俣保健所	5	9	1		13	1		1	2				*	*						
人吉保健所	19	3	1	6	28	5			2			12	*	*						2
有明保健所	45	2	1	6	89	4	4		3											
宇城保健所	29	1		13	44		6		2				*	*						
天草保健所	22	2	2	4	13						2									
計	258	48	13	83	595	20	40	1	26	0	4	15	0	8	0	0	0	0	0	3

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ	258	0	5	12	13	16	13	13	10	7	17	15	26	12	14	14	15	17	10	6	23	
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	48	10	10	17	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
咽頭結膜熱	13	0	3	3	1	4	1	0	0	0	0	0	1	0	0							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	83	0	1	4	5	15	10	5	14	8	7	3	7	7	4							
感染性胃腸炎	595	2	30	66	61	56	62	45	44	25	34	35	74	15	46							
水痘	20	0	0	2	4	3	2	6	2	0	0	0	1	0	0							
手足口病	40	0	1	12	8	8	6	1	3	0	0	1	0	0	0							
伝染性紅斑	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0							
突発性発しん	26	1	13	9	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
ヘルパンギーナ	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
流行性耳下腺炎	15	0	0	1	1	4	3	3	1	1	0	0	1	0	0							
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
流行性角結膜炎	8	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	1	1	1	0	0	1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

感染性胃腸炎に注意しましょう

今週の感染性胃腸炎の報告数は595件と、引き続き増加しています。手洗いなどの感染予防対策をしっかり行いましょう。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行しやすくなっています。

ノロウイルスは手指や食品などを介して感染します。症状は、おう吐、下痢、腹痛などです。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化することもあるので、注意が必要です。

ノロウイルスは、ロタウイルスと違い、ワクチンはありません。また、治療は症状がひどいときは点滴をしますが、特効薬があるわけではありません。右のような予防対策が大切です。

- ノロウイルスの予防対策
- (1) 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。
  - (2) 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
  - (3) 胃腸炎患者に接する方は、患者のふん便や吐ぶつを適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。特に、子どもやお年寄りなど抵抗力の弱い方は、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう。



KKT医療ナビ! Dr. Televitan

KKT 医療ナビ! Dr. Televitan

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課